

取組の名称		都市農地を活用した農園整備とグリーンインフラの機能の発揮	
活動主体（団体名）		株式会社 グリーン・ワイズ	
活動主体（団体名）（フリガナ）		カブシキガイシャ グリーン・ワイズ	
取組の内容 （自由記述）	①概要	2018年4月に、調布市に深大寺ガーデンを竣工した。都市農地の担い手不足による農地売却と、転用に関連する生産緑地問題が課題になっている土地に、武蔵野の雑木林を代表するケヤキの樹木保存、雨水浸透のためのレインガーデン、都市型農園などを住宅・レストランと一体的に整備した。	
	②取組内容を確認できるURL （または資料添付）	https://www.greenwise.co.jp/topics/3746/ https://www.greenwise.co.jp/gw_archives/4597/	
	③実施時期、頻度	通年	
	④活動場所（所在地）	調布市	
	⑤活動の規模（参加者数）	10名	
	⑥活動状況がわかる写真（撮影年月日）（既に実施している場合）※		
	2021年5月6日	2020年7月30日	
対応する社会課題 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input type="checkbox"/> 子供の福祉（子供の健やかな成長を社会全体でサポート） <input checked="" type="checkbox"/> 都民の健康・長寿（誰もが元気で心豊かに暮らせる地域の実現） <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ形成（誰もが集い、支え合うコミュニティを至るところに形成） <input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災／気候変動対策（地球温暖化に伴う豪雨や自然災害等の被害軽減） <input type="checkbox"/> 地域振興（東京全体の生産性、魅力向上） <input type="checkbox"/> 観光・文化振興（人々のウェルビーイング、東京のプレゼンス向上） <input type="checkbox"/> 農林水産業の成長（危機に強い産業構造への転換） <input checked="" type="checkbox"/> 緑や水辺を生かした空間の創出／自然地保全・管理（都市機能を高め、世界を魅了）	
活用している生態系の機能 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input checked="" type="checkbox"/> 供給サービス（日々の暮らしに必要な資源を供給／食料、繊維、木材、水、薬品など） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（二酸化炭素の吸収） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／ヒートアイランド現象・暑熱環境の緩和） <input type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／大気汚染や騒音の低下） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（災害の緩和／台風、洪水、津波、地滑り、雨水浸透、Eco-DRR） <input type="checkbox"/> 調整サービス（水質の浄化／窒素やリンの吸収、有機物の取り込み） <input type="checkbox"/> 調整サービス（花粉媒介／植物の世代交代、農作物の収穫量の増加） <input checked="" type="checkbox"/> 文化的サービス（精神を豊かにする機能／芸術的・文化的なひらめき、教育的効果、心身のやすらぎ、観光レクリエーションなど） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（生息・生育環境の提供） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（光合成による酸素の生成） <input type="checkbox"/> 基盤サービス（地力の維持及び栄養循環）	
貢献の内容 （自由記述）	①人間の幸福に対して	<p>レストラン裏の畑では、様々なハーブや野菜が植えられている。この庭で採れたものはレストランでもふるまわれ、収穫イベント等の様々な催しを企画し、近隣住民の方々と地域のコミュニティーともシェアしていくようなイベントを開催している。</p> <p>また、敷地の北側には、降った雨をゆっくり地中に浸透させて循環させていく雨水浸透ガーデンがある。地下水の涵養を促し、浸水被害の軽減、地盤沈下や地下水塩水化の防止、地下水源の確保、地中温度上昇の抑制などの効果が地域に貢献している。</p>	
	②生物多様性に対して	<p>敷地内には2棟の居住棟と1棟のレストランが所在し、果樹を中心とした樹木の植栽や野草が自生する庭が整備されている。樹木、低木、グラス類は主に食べられる植物で構成されているため、鳥や虫を呼び寄せ生き物の生息環境を創出している。</p> <p>サザ類やセイタカアワダチソウなど、侵略性が高く他の植物の成育を妨げる植物のみを選択して取り除く「選択除草」や、敷地内の植栽管理は IPM（総合的病害管理）手法を用いてメンテナンスされており、環境に配慮した植栽管理が行われている。</p>	